



福島県2050年カーボンニュートラルの実現に向け、昨年制定した「福島県カーボンニュートラル条例」の下、オール福島で一体となって、総合的かつ計画的に気候変動対策を推進する。



推進体制

福島県カーボンニュートラル推進本部

ふくしまカーボンニュートラル実現会議

主要な取組

カーボン・オフセットの推進

県内企業の脱炭素化の推進

学生等と連携した情報発信

適応策の推進

■温室効果ガス排出量の削減(緩和策)

第1の柱: 県民総ぐるみの省エネルギー対策の徹底

○共通取組

- ・カーボンニュートラルの普及啓発(ゼロカーボン宣言、学生との連携による情報発信、地球温暖化防止活動推進センター事業、イベント開催、環境教育等)(企画、生環、商労、農林、教育)
- ・J-クレジットの創出(企調、生環、商労、農林)

○県民(家庭)向け

- ・脱炭素型ライフスタイルの推進(脱炭素アクションキャンペーン、エンカル消費の推進、ごみ減量化)(生環)
- ・ふくしまならではのZEH導入支援、既存住宅の断熱改修(生環、土木)

○事業者(企業)向け

- ・県内企業の脱炭素化の支援、エコタイヤ導入支援(生環)
- ・省エネ設備導入支援、中小企業制度資金【ふくしま産業育成資金】(商労)
- ・FCV・FCTトラック導入支援、水素ステーション整備・運営支援(企調)
- ・水素配送・使用設備導入等支援(商労)
- ・グリーンな栽培体系への転換、環境保全型農業の支援(農林)
- ・産業廃棄物の排出抑制・リサイクルに係る施設整備、人材育成支援(生環)

第2の柱: 再生可能エネルギーの最大限の活用

○再エネの導入拡大・利用促進

- ・家庭・事業者向け再エネ設備の導入支援(企調)
- ・共用送電線の整備支援、再エネ導入拡大可能性調査(企調)
- ・ペロブスカイト太陽電池事業化可能性調査(企調)
- ・FCV・FCTトラック導入支援、水素ステーション整備・運営支援(企調)
- ・水素配送・使用設備導入等支援(商労)
- ・木質バイオマス機器導入支援、間伐材運搬等経費支援(農林)

再掲

○エネルギー・環境産業の育成・集積

- ・エネルギー・エージェンシーふくしまによる再エネ研究会等の運営、ネットワークの構築から取引拡大、海外展開まで一体的支援(商労)
- ・再エネメンテ分野の人材育成支援(商労)
- ・企業・大学・研究機関による関連技術の研究開発等支援(商労)

第3の柱: 持続的な吸収源対策の推進

○森林整備等の推進による吸収源対策

- ・森林整備の推進、森林吸収クレジットの推進(農林)
- ・林業アカデミーふくしま等による人材育成(農林)
- ・都市公園の維持管理(土木)

県有施設の取組

- ・太陽光発電設備の導入
- ・LED照明の導入
- ・公用車の電動化
- ・ZEB(新築、改修)
- ・再エネ由来の電力調達
- ・木造化・木質化
- ・交通渋滞対策の実施等

■気候変動影響に係る被害の防止・軽減(適応策)

- ・福島県気候変動適応センターの運営(生環)
- ・高温下でも強い農作物の品種選抜や適応技術の開発、環境保全型農業の取組支援(農林)
- ・熱中症対策(市町村や企業と連携した予防策の普及啓発、「ふくしま涼み処」の運用)(生環、保福、農林、教育)
- ・防災講座や防災イベントの実施、流域治水PRイベントの実施、河川管理施設、ダム、排水機場等の整備(危機、農林、土木)